

戸開走行保護装置
定期検査及び定期点検の項目・事項・方法・判定基準

認定番号

ENNNUN-2610

UCMP 型式

DBG-9 型

発行：令和 4 年 1 月 28 日 Ver.1

	検査項目	検査事項	検査方法	判定基準
(1)	安全制御プログラム	型式	安全制御プログラムの型式を確認する。(目視にて基盤の型番を確認又は保守ツールによる確認)	基板の型式が指定された型式と同一でないこと。 型式 21311AEL 又は 21311AEM
				プログラムの型式が指定された型式と同一でないこと。 型式 JAA31942AAA
(2)	つま先保護板	外観及び取付けの状況	目視及び触診により確認する。	過度の変形があること。 取付けが堅固でないこと。
		長さの状況	かご敷居からつま先保護板直線部までの鉛直距離を測定する。	規定寸法 (675mm) 未満であること。
(3)	特定距離感知装置	作動の状況	動作位置を確認する。	規定位置 (各床±75mm±10mm) で動作しないこと。
(4)	部品	規定部品の型式	目視により確認する。	規定部品の型式が適正なものでないこと。
		規定部品の交換基準	目視及び触診により確認する。	規定部品の動作回数又は経過時間が規定値を超えていること。 UCM1,UCM2：400 万回到達時又は使用年数 10 年経過時
(5)	巻上機	型式	目視により確認する。	巻上機が大臣認定を受けた型式と同一でないこと。 型式 20220AT301
		制動面の油の流出状況		制動面に油が付着していること。
		油排出場所の油の流出状況		シール部から油が流出していること。
(6)	ブレーキ	パッドの厚さの状況	可動制動板とコイルケースの隙間を測定する。	隙間が 0.53mm を超えること。(要重点点検) 隙間が 0.58mm を超えること。(要是正)
		ブレーキパッドの動作感知装置	ブレーキ開放時及び締結時の動作感知装置の接点信号動作を確認する。	ブレーキの開閉と接点信号動作が一致していないこと。
		制動力の状況	両側ブレーキによる無積載上昇時のかご停止距離を測定する。	当年の測定値に前年からの変化量を加えた停止距離が規定値を超えること。 (要重点点検) 停止距離が規定値を超えること。また、変化量が規定値を超えること (要是正)
(7)	かご戸スイッチ	作動の状況	かご戸を開いた後、徐々に戸を閉め作動の位置を測定する。	全閉位置から 25 mm を超える位置で動作すること。
(8)	乗場戸スイッチ	作動の状況	乗場戸を開いた後、徐々に戸を閉め作動の位置を測定する。	全閉位置から 25 mm を超える位置で動作すること。
上記 (1) ～ (8) の検査結果で「要是正」又は「要重点点検」および別記第一号 1-(14)・3-(3)・4-(11) の検査結果で「要是正」又は「要重点点検」の判定がある場合は、別記第一号 2-(9) 「戸開走行保護装置」の検査結果を「要是正」又は「要重点点検」と判定する。				

この印刷物に記載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

著作権所有：日本オーチス・エレベータ株式会社